

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 (任意)
1	11 C	・集団を好まず、みんなの輪の中に入らず、少し離れた場所で過ごす方が居る。逆に他利用者さんが近くに来て嫌がったりするため、なかなか集団行動が出来にくい状況にある。本人の無理のない様に共同生活に馴染んでいけるような支援の工夫を行っていく必要がある。	・常にみんなの輪の中で過ごす事は、本人にとってもストレスとなる恐れがある為、レクリエーションや行事の時等には、自然にみんなの輪の中で集団の一員として感じながら、過ごして頂けるよう支援していく。	・現在でも誕生会やレクリエーション、踊りや行事等への参加は本人の意向を確認しながら短時間になる事もあるが参加できている。今後、時間や他利用者さんとの距離なども考慮しながら、少しでも、本人の負担無く。みんなと一緒に共同生活出来る様に誘導する。	3 か月	
2	18 b	・毎食後、口腔ケアに声掛けしたり誘導しながら、歯磨きを行っています。しかし齲歯や義歯の具合などは、なかなか気付かない事が多く、異常の発見が遅れがちになっている。定期的に歯科検診などを受ける機会を確保し、常に正常な状態で咀嚼・嚥下できるようにする必要がある。	・定期的に歯科検診を受けながら、口腔内の状況が把握でき、支障なく咀嚼・嚥下出来る様支援していく。	・年に1回歯科医師若しくは歯科衛生士による歯科検診を受診し、口腔内の状況を専門的な視点で確認する事で、咀嚼や嚥下について良好な状況を維持しながら、美味しく食事が摂取できるようにする。	12 か月	
3	20 a	・現在個々の今までの入浴習慣やタイミングを確認しながら声掛けし入浴して頂いていたが、ただ入浴し清潔を保持する事だけを目的にせず、入浴時の楽しみなども作り、もっと入浴を楽しくし、楽しむようになるような取り組みを行う必要がある。	・入浴する事だけを楽しみにするのではなく、入浴前後の楽しみも作り、もっと入浴が楽しくにし、楽しく入浴できるように支援していく。	・入浴前には、着替えの服を自分で選んで頂いたり、仲の良い利用者さん同士では、入浴中の会話も楽しむことが出来る様に、一緒に入浴したり、女性の方は、出た後の保湿クリーム、化粧水などの肌のケアなども含め、鏡を見ながらのスキンケア等も取り入れながら、もっと入浴が楽しめるよう工夫する。	3 か月	
4	35 b	・初回契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」について説明し、同意を得、署名・捺印を頂いているが、十分に把握して頂けてないと思われる。今後、直接家族会や面会時等に再度重度化した場合の対応について再確認する必要がある。	・利用者家族の重度化した場合の対応について、改めて面会時や家族会の席を利用し、再確認を行っていく。	・現在利用中のご家族の方には全員年内には、再度説明を行い、内容について確認し、理解と了承頂けるように対応していく。	5 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

[サービス評価の実施と活かし方についての振り返り]		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐ ⑤その他 ()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した
		☐ ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐ ⑤その他 ()
3	外部評価（訪問調査当日）	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		☐ ④その他 ()
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ⑤その他 ()
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		☐ ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した（する）
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ（取り組む）
		☐ ⑤その他 ()